

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 173号
7月 9日(火)

心を一つに!

「一人が持っている力を1として、6人合わされば6になるけど、一つのポジションを二人として考えると12になる。ライバルだけど、お互いを想ってプレーや応援をしたい。」

「最後、チームになって終わらせてあげたい。(いろいろな経験をする中で)“チームをどうにかした!”“あきらめたくない!”と思えます。私はあと1週間、絶対にあきらめません。私は勝たせてあげたい。本当にいろいろな人にお世話になりました。私はその人たちに“チームを一つにすること”で恩を返します。そのために自分の役割を果たします。」

「昼の紅白戦で『あ〜、バレー楽しんでいるな!』ということがよく分かりました。私は1年生のころを思い出しました。あの時、不安もたくさんあったけど、点が決まったとき・当たりそくないで点が取れたときでも、すごくうれしかったです。レギュラーとしてずっと出ていたので、大切なことを忘れていました。楽しんで、みんなで協力をしてボールをつなぎ勝つこと、それがバレーだと思います。」

「みんなが同じ気持ちで一生懸命できたら強くなれると思う。本当に一人でも弱気になった時点で終わるんだと思う。雰囲気勝負。」



「いろいろなことが今まであって、いっぱい泣いたし、素直になれなかったり、悩んだりしてきたけど、最後にその思いを全て一生懸命にやるってことにつなげていきたい。」(バレーノートより)

【みんなのバレーノート】

左に先週末のみんなのバレーノートに書かれたものの抜粋を載せました。一人一人が

“今、やらなければいけないこと”
“今、大切にしたいこと”

が伝わってくる文章ばかりでした。改めて先生がコメントを書くまでもありませんでした。大会前(試合前でもいいと思います。)にもう一度、読み返してみましよう。勇気がわいてくるはずです。



【紅白戦の意味】

昨日の練習では、限られた体育館時間でしたが、前日の練習試合の時と同様に、3チームに分けて紅白戦を行いました。今回は1年生もチームに分けて、ピンチサーバーとしてコートに立つ機会も与えました。見事にサーブを入れた人も何人かおり、とても盛り上がりました。試合後、「なぜこのタイミングで、このメンバーで試合をしたか?」をみんなに伝えました。一人一人しっかりとその意味を理解して、今日からの練習に臨んでほしいと思います。

